



# 仙台電波高専同窓会報

第61号

発行：仙台電波工業専門学校同窓会  
〒989-3128  
宮城県仙台市青葉区愛子  
中央4丁目16-1  
FAX：022-391-6144  
E-mail：jimukyoku-h  
@sncd-dosokai.jp  
印刷：株式会社ジャン

## 平成23年度総会案内

同窓会副会長 電波通信学科9期 出貝 隆志

千年に一度と言われた東日本大震災があった3月11日は小雪交じりの寒い日でしたが、季節はいつの間にか新緑鮮やかに目にしみる頃となりました。同窓会会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、同窓会総会は、例年6月に開催させていただいておりましたが、本年度は震災の影響もあってひと月遅れの7月に、内田校長先生のご出席をいただき開催させていただきました。くはこびとなりまして。

今回は、仙台高専同窓会の総会とその下部組織となりました仙台電波高専同窓会の総会が合わせて行われます。母校の校名が変更になったことにより同窓会の名称を変更するといった大事な議案もございますので是非ご出席いただき、たくさんの方の意見をいただきたいと思っております。

ご意見をいただきたいと思っております。また、交流の場では震災に伴い安否の不明な方々もたくさんいらっしゃると思いますので旧交をあたためたり、同じ同窓会会員となった旧宮城高専の卒業生や世代を超えた会員との交流を大に行っていたきたいと思います。

### 記

日時 7月16日(土)

午後2時より(仙台高専総会)  
午後3時より(仙台電波高専総会)  
午後4時より(懇親会)

場所 KKRホテル仙台

仙台市青葉区錦町1丁目8-17  
022-122515201  
会費 五千元(女性半額 平成22年度卒業生無料)

## 会長挨拶



同窓会長 佐々木 勇

仙台のケヤキの木々が一斉に緑色に芽吹き、大地の生命の営みを感じる季節になりました。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。東日本大震災では多くの方が行方不明になり、街や産業に多くの被害が出て、復旧のプランもままならない状況に心が痛む思いです。

残念な事に母校学生にも行方不明の方がおられます。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。同窓会の支援活動として、学校が新たに作った支援組織に義援金を送る方向で検討したいと考えておりますので、会員の皆様のご意見を頂きたいと思っております。小生の実家の有る石巻市河北地区も大きな被害が出ました。幸いにも身内は無事でしたが今後の復旧についてどこに住むか、

どう暮すかという議論はまとまっておられません。想定外を想定内にするには多くの話し合いと深いビジョンが必要だと思います。小生自身もできる範囲でふるさと支援を継続的にやっていく考えです。母校も5月から授業が始まり、先生方も授業の時間調整に大きな苦勞があるのを聞いております。新入生はもろろん学校関係者、同窓会会員の皆様が安全を取り戻し、希望に満ちた生活ができることを祈っております。

会員の皆様には通信、情報インフラの担い手として、震災の復旧に向けて、ご多忙の方も多いかと思っておりますが、お互いの安否確認を兼ねまして7月16日の総会でお会いできますことを楽しみにしております。

## 震災のご報告とその後の取り組み



校長 内田 龍男

卒業式を直前にして3月11日に東日本大震災に見舞われ、未曾有の惨事となりました。同窓会の関係者にもこの被害に遭われた方々が沢山おられること存じます。心からお見舞い申し上げます。

仙台高専でも在校生1人と入学生予定の学生1人が津波で亡くなり、家族を無くしたり家を失った学生や教職員が多数おります。また、学校内では、特に名取キャンパスのターミナル、材料加工工場、二つの体育館、武道館、グラウンドなどが使えない状態です。これに伴って、卒業式や入学式が中止となりました。その後、5月9日に授業再開を果たすことができました。同窓会からは多くの義援金などのご支援を頂きまして、心から御礼申し上げます。

卒業式を直前にして3月11日に東日本大震災に見舞われ、未曾有の惨事となりました。同窓会の関係者にもこの被害に遭われた方々が沢山おられること存じます。心からお見舞い申し上げます。

ところで、この大震災に伴って、日本の誇る部品材料などの製造工場が大きな痛手を被っており、このためにこれを使った高性能の製品の生産が大幅に影響を受けています。また、福島原子力発電所の事故に関連して、今後電力不足が更に進み、製造業には痛手に拍車がかかっているのではないかと危惧されます。

このような日本の厳しい状況を克服するために、今、高専のすべきことは本来の使命、すなわち、基礎学力と実践力、人間力を備えた人材を育成して、世に送り出すことと考えております。この大震災の傷跡の復興は長い間になるかも知れませんが、いつの日にか、東北の産業、そして日本の産業を復活させたいと願ってやみません。これを実現するために、同窓生の皆様のご支援・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

なお、卒業式ができなかったことに伴って、10月下旬に卒業式を兼ねた全同窓生のホームカミングデーの開催を検討しております。いずれの案内が参りましたら奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

## 仙台高専同窓会設立総会について

東北支部長 (電波通信学科7期) 庄子 直人

2月12日(土曜日)に、仙台駅東口のガーデンパレスホテルに於いて旧宮城高専同窓会と旧仙台電波同窓会が一つとなった設立総会が開催されました。

当日は東京をはじめ各地から約80名の方々にご出席いただき大変賑やかな会となりました。

会では同窓会統合の経緯説明、役員紹介、初年度事業計画の報告がなされ、会員の方から熱心なご質問を多数いただきました。対応については、次回7月開催の総会までに規約の一部修正・補足を検討することとしました。

今回特別に内田校長先生にご専門の液晶研究についてご講演をいただきました。大変解り易くとても参考になりました。ありがとうございます。また、懇親会では新生スパー高専としての仙台高専の説明を『夢はありますか?』と題した学校紹介パン

## 関東支部懇親会

副題：仙台高専を応援する会の開催のご案内

関東支部長(電波通信学科5期) 山内 克也

この度の東日本大震災により被災された会員様とそのご家族様には心よりお見舞い申し上げます。また、被災からの復旧・復興に向け、日夜ご努力されている皆様には敬意を表するとともに、一日でも早い復興を祈念しております。

さて、毎年開催しております「関東支部懇親会(旧仙台電波高専・関東支部)」ですが、次により開催することとしたので案内申し上げます。震災の影響を踏まえて本年の関東支部懇親会の中止も検討いたしました。懇親会をキッカケに「母校」や「東北地方」を盛り上げることができればと思います。『副題：仙台高専を応援する会』として、予定どおり開催する運びとなりました。関東支部から母校へ力強いエールを送るために、多数のご参加者を募りたく、万障お繰り合わせの上でご参集賜りますようご案内申し上げます。

◆日時：平成23年6月24日  
18時30分～20時30分  
(受付は18時から)

◆場所：ホテル銀座ラフィナート  
(旧：京橋会館)  
http://www.raffia.jp/raffia.html  
東京都中央区銀座1-25-1  
電話：03-3564-0888  
有楽町線：銀座一丁目駅、  
新富町駅から徒歩3分  
◆会費：男性6千円、女性3千円、  
新卒者は無料

◆義捐募金：当日会場にて義捐金の募金活動を行いますので協力ください。

◆連絡先  
①山内 克也：06-016000-9308  
katsuya.yamauchi@alifitoc.co.jp  
②中川 篤：03-6678-2540  
at-rakagawa@kddi.com  
③荻原尚志：06-01621-5641  
takechi.ogihara@netemail.jp



# 3月11日 東日本大震災発生

## 発生から学校としての対応

3月11日の地震発生時から22日(火)までの学校の状況・対応の概要をお知らせ致します。

名取キャンパスは、地震により施設関係が相当のダメージを受けました。施設課と建築デザイン学科教員による施設危険度の簡易調査を行った結果、グラウンド、体育館、武道館、創造教育センター(実習工場、高学年棟がレッド(危険)、総合科学教育棟、マテリアル環境工学科棟がイエロー(注意)、その他の施設はブルー(比較的安全)と思われる)と判断されました。また、学校の周辺に地崩れや地割れが見られる危険な状態です(紙面下部写真参照)。

広瀬キャンパスは、建物の被害は比較的少なく、設備等にも大きな被害はありませんでした。

以下に、地震発生からの両キャンパスの経緯の概略を記します。

### ●3月11日(金) 14時46分地震発生

・在校中の学生と教職員が、避難訓練で指定した場所(※1)へ避難。  
・学内の学生・教職員の安全を確認し、怪我等無く無事であることを確認の後、校内施設チェックと建物内に学生がいらないことを確認。  
・寒さのため、避難中の学生・教職員を耐震性が強い建物(※2)に避難させ、各避難教室に教員を配置。  
・交通機関不通で帰宅できない事態に備え、学内施設に簡易宿泊所を準備(※3)。

・水・電気・ガス全てストップしたため、簡易宿泊施設として、自家発電の夜間照明・ストーブ・合宿所から布団等を準備。市や生協からの食材配給も受ける。  
・帰宅可能学生及び保護者が迎えにきた学生は、確認後、帰宅させる。(以後逐次)。

・名取キャンパス…協定に従って、がんセンターに援助に向かい、翌日13日には、がんセンターの片付けを学生教職員13名で手伝う。また、名取キャンパスは近隣地区の緊急避難場所に指定されていた

ため、近隣住民約30名を同様に寮に避難。

・学生や近隣住民を緊急保護で宿泊させた(※4)。教職員がサポートの宿泊(※5)。

(※1) 名取…グラウンド、広瀬…グラウンド西の広場

(※2) 名取…食堂、広瀬…4号棟1Fと視聴覚教室

(※3) 名取…寮食堂、合宿所、広瀬…合宿所、厚生会館食堂、学バス、視聴覚教室

(※4) 名取…約150名(内、留学生5名、近隣住民約30名)、広瀬…96名(内、留学生11名、近隣住民3名)

(※5) 名取…40名弱、広瀬…30名弱

### ●3月12日(土)

・ライフインフラと保護者の状況を確認し、学内滞在学生を極力帰宅させる方針とした(健康状態を長期間良好に保つことが、学内保護では困難なため)。

・名取キャンパス…電話、メール等が被災で利用不能となり、外部との情報が遮断。緊急電話2本を設置(機構本部連絡用、学生安全確認用)。

・広瀬キャンパス…自力で帰宅できない学生約40名をスクールバス等の公用車で自宅に送り届け。大部分の学生が帰宅したため、宿泊場所を「ICTセンター交流室、国際交流室、保健室」に変更(宿泊学生16名(内、留学生11名)、近所の8名も宿泊)。全学生と家族、全教職員の安全確認作業を「開始」(電話、メール、本校開発のメール利用による緊急時安全確認システムの利用)。

### ●3月13日(日)

・残る学生等の支援目的で、4名の宿直体制とし、食材調達開始と自炊開始(日直を含む実質支援教職員数は名取約30名、広瀬10数名)。

・留学生が、東京の各国大使館派

遣バスで東京へ避難開始。旅行中の留学生の安全も確認。

・合同会議(会場…広瀬キャンパス)…卒業式、修了式等の3月の行事中止、入学手続き期間延長、4月下旬まで休校等」を決定。ラジオ等での情報公表開始。建物の安全が確認できるまで、学生は自分の間出校禁止とする。

・名取キャンパス…学生や教職員の安全確認作業開始。

### ●3月14日(月)

・合同会議(会場…広瀬キャンパス)…入学手続き、および学生安全用の緊急電話を機構本部HPに掲載すること」を決定。教職員は両キャンパス共に全員無事を確認。交通、水、トイレ等のインフラ問題により、18日までは、宿直以外の教職員は出勤可能な者のみの出勤とする。

・名取キャンパス…1名の学生の死亡情報が入る。学科内の被害状況を確認し立ち入り禁止区域調査決定。

### ●3月15日(火)

・22日までは、宿直以外の教職員は出勤可能な者のみの出勤とする(宿直直を除く)。

・TVへのテロップを民放へ拡大し掲載依頼。

・名取キャンパス…建物内への立ち入りをフルゾーンは可、イエローゾーンは4Fまで可とする。

・広瀬キャンパス…下水処理能力の限界と水の供給なしのため、水不要トイレ設置。

### ●3月16日(水)

・合同会議(会場…名取キャンパス)…以下を決定。新5年生と新専攻科2年生の就活、並びに現5年生と現専攻科2年生の就職について、産業界に配慮をお願いする。

入学生の安全確認を行う。3月17日の入学手続きの切り日期日を延長する(31日まで郵送での受付とし、遅れても配慮)。合格者への案内は機構本部のHPと本校HPで行うと共に、マスコミにも流す。

・名取キャンパス…電気復旧、LAN環境一部復活。

### ●3月17日(木)

・仙台高専の情報テロップがNHK、KHBに掲載されていることを確認。マレーシア留学生(八戸高専)一関高専の留学生を含む)が大使館派遣バスで出発し、全留学生の東京避難が終了。

・名取キャンパス…避難所での朝食提供者は、一般15名と学生15名。避難住民(8名)は市役所の方針で増田西小学校、保険センター等に移動。寮食堂宿泊学生を合宿研修所へ移動。18日以降は宿直を1名体制へ縮小。

### ●3月18日(金)

・高専機構の五十嵐理事等が救援物資とともに来校。両キャンパスを視察。

・高専機構や各高専から救援物資が届く。

・安全が未確認の学生を警察に届ける。

・合同会議(会場…名取キャンパス)…25日までは、教職員は出勤可能な者のみの出勤とする(宿直直を除く)。

・名取キャンパス…避難所学生6名全員が別の避難所に退去するに伴い避難所と秋工芸館の食堂を閉鎖。

### ●3月19日(土)

・名取キャンパス…残る学寮避難学生6名。

・広瀬キャンパス…残る学内避難学生3名を家族のもとへ公用車で送り届け、1名の学生が実家に帰宅。学内宿泊学生が0になる(宿直体制を解除)。

### ●3月21日(月)

・名取キャンパス…1名の学生が実家に帰宅。

・広瀬キャンパス…全学生の無事を確認。

### ●3月22日(火)

・名取キャンパス…死亡した1名以外の全学生の無事を確認。学寮避難学生4名が帰宅し、1名となる。合同会議(テレビ会議)…宿直体制を解除した。



【北側法面の崩れ】



【武道場外壁】



【創造教育センター】



【自転車置場】



【運動場の地割】

## 大震災義援金募集

今回の大震災では、残念ながら、本校の現役学生をはじめ保護者など多くが被災さていてこの報告がありましたが、そこで、母校より次の要請がありました。本会としても趣旨に賛同しこの呼び掛けに添うことになりましたので、会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

仙台高等専門学校 同窓会会員各位  
『東北地方太平洋沖地震により被災された学生等への義援金について』

三月十一日に発生した大地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けた皆様様に心よりお見舞い申し上げます。本校におきましても、安全確認等の情報などから被害を受けた学生が多数おられることが分かって参りました。

そこで、被災した学生への支援の一助とすることを目的として、本校関係者の皆様より義援金を募ることといたしました。この趣旨にご賛同いただける方におかれましては、下記の口座への義援金のお振り込みをお願い申し上げます。なお、お預かりしました浄財につきましては、被災された学生やそのご家族の方々への支援として使用させていただきますことを予定しております。

発起人 仙台高等専門学校  
校長 内田龍男 他

### 【振込先】

・杜の都信用金庫  
(金融機関番号 1170)  
・宮城町支店(支店番号 019)  
・普通預金口座番号 08212007  
・口座名義  
仙台高等震災義援金  
経理責任者 及川洋輝  
センダイコウセンシンサイギンギン  
ケイリセキニンシヤ オイカワヨウキ

## 仙台高専誕生1周年記念・仙台高専同窓会設立記念講演会を開催

広瀬キャンパス同窓会 副会長 大江 章  
(電波通信学科3期)

12月17日、仙台サンプラザホールにて仙台高専誕生1周年及び統合した同窓会の設立を記念した講演会を開催しました。

詳細については母校HPに掲載しておりますが、演題としては「計算尺とパソコン」と題して宮城工業高等専門学校OBで元ヤノ株式会社システム推進部長の奥田博氏が、高専の学生時代に感動したことや学んだこと、登山や写真との出会い、会社を選んだきっかけや会社に入社して学んだこと、企業が求める人材像、社会と企業の変革及び学生に対する励ましのメッセージなどについて熱弁を振るいました。

続いて、「戦後をふりかえって」と題して、仙台電波高等学校OBの株式会社やまや代表取締役会長山内英房氏が、家業を継いだ頃の思い出や、家族や先輩方から学んだこと、謙虚な姿勢を持つことや様々な経験をするこの大切さ、経営者としての苦労や感じたことなどの話がありました。



参加した本校学生、教職員、同窓会員約千八百人余りが、講師が成功された大先輩であり、経験談からくる含みのあるメッセージに熱く耳を傾けていました。特に学生は、相手の立場を理解し受け入れることの大切さについて学んだことと思います。

引き続き、同窓会から学生会への記念品として横断幕2枚が贈呈され、高度化再編したスーパー高専、仙台高専が今後とも活躍する際に必須のアイテムとなるものであり、学生会及び両キャンパス学生とも誕生1周年記念に感慨を深くしていました。

## 災害復興に向かつて

遠藤 好朗  
(電波通信学科4期)

このたびの東日本大震災により、亡くなった方、被害にあわれた方へ対して心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

2011年3月11日午後2時46分、千年に一度と言われる規模の宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が発生しました。最大40メートル近い巨大な津波と、火災、さらには、福島第一原子力発電所の事故が被害に追い討ちをかけたという震災が一夜明け、状況が少しずつ見えてきたとき、我々は、ただ、啞然とするしかありませんでした。三陸や宮城、福島、沿岸線、原発から半径20キロ以内では、多くの町が消滅してしまいました。家、人はおるか町ごと、すべてが失われたのです。そのすさまじい映像と現実、我々はそれが正真正正銘、未曾有の大震災だったことを理解しました。



以上のような2つのイベントを実施でき、同窓会としても大変喜ばしくそして有意義な講演会となりました。同窓会会員の皆さまの深いご理解とご協力に対して感謝申し上げます。次期です。

### 年会費免除について

この度の東日本大震災で被災された皆様に対して心からお見舞い申し上げます。被災された方につきましては、今年度の年会費を免除とさせていただきます。

### 返信はがきの記入について



返信用はがきの記入についてご案内させていただきます。なお、今回返信いただいた方の期別・氏名を震災の安否情報として次回の会報に掲載させていただきます。ご協力をお願いします。

### 出欠確認

総会、懇親会への出席または欠席を丸で囲んでください。

### 委任状

委任者名(総会に出席される方の氏名、または議長とお書きください。氏名欄にはご自分の氏名をご記入し捺印またはサインをしてください。氏名欄が未記入の場合は無効票となりますのでご注意ください。)

### 会員動向情報欄

自宅住所等の変更のあり、なしの

いを始めました。また、全国の自衛隊や警察、消防、米軍から12万人もの人が現地に駆けつけ、陸路の確保を急ぎ、やがて、全国から物資が届き始めました。ライフライン(電気水道、ガス)の復旧も急ピッチで進みましました。さらに、高速道路や鉄道、新幹線、空港は、すいすい復旧し、復旧しました。しかし、被災地を除いてですが、日々続く余震と刻々と変化する状況、次第に明らかになる被害を客観的に追いつながら、私は、こう考えました。このところの日本は、いろいろな面で行き詰まっています。行き詰まりの原因は、これまでも、さまざまな課題を先送りしてきたことにあります。その結果にも、それは現れています。今までは、自分たちの変革をしないで先送りを続けてきました。この大震災を機に、もはや先送りは許されません。私たちの、その現実に向き合おう。私たちが、その現実を直視していかなくてはならない。思えば、日本は、あの第2次世界大戦後、焼け跡から再出発して、今の豊かさを築きました。東北は、もう一度改めて、あの戦後からやり直さなければならぬ。

どちらかを丸で囲み、変更がある場合はその項目をご記入ください。変更の有無に関わらず、整理記号(番号(英数字7桁)と氏名はご記入ください。)

また、転送や職場で会報を受け取った方は、現住所をお知らせください。会費の自動引き落とし申し込みする、しない、済みのどちらかを丸で囲んでください。

おとも面の通信欄は自由記入欄となっており、近況の連絡、会報が届いていない同窓生の情報提供などにお使いください。通信欄に近況連絡などを書いていただくと、次回の会報に近況短信として掲載されるようになります。紙面の都合により掲載を見合わせていただく場合もあります。その際はご了承ください。会報掲載時は基本的な期別に氏名も記載しますが、匿名を希望される際は、その旨ご記入ください。また、会報掲載を希望されない場合も、その旨ご記入いただければ会報に載ることはありません。

## 電気自動車エコラン競技大会参戦報告



ことになったのです。日本は、あの瓦礫の山から不死鳥のように蘇ったのです。もう一度できるはず。もう課題を先送りすることなく、積極果敢に取り組んでいくことができるはず。その自信と誇りをもって皆様、立ち上がりましょう。最後になりますが、このたびの震災により、被害にあわれた方々へ深くお見舞い申し上げます。

報告が大変遅れましたが、8月21日、22日に宮城県村田町スポーツランドSUGOの国際レーシングコースでひらかれた「2010電気自動車エコラン競技大会」に、仙台電波のSUGO、「10」の2チーム、ならびに電子制御99年卒久保敬氏をリーダーとするOBチーム、さらに、昨年、電気自動車製作教室で自信をつけた模型愛好会「MOTOMOTO」また本校名取キャンパス自動車部チーム、合わせて5チームが本校から参戦しました。今年は猛暑の中、自動車メーカーやモーターメーカーをはじめ、大学・高校生チームまで合計41チームが集い、レースが行われました。



【関係した全員での記念写真】

## 学校への救援物資について



3月11日の震災直後から、学食・売店を運営するみやぎインタカレッジコープ、長岡技術科学大学、沼津高専、福井高専、高専機構本部、豊田高専、鶴岡高専、東京高専、豊田高専、石川高専、富山高専、豊橋技術科学大学など多くの学校ならびに関係機関から、水類、食品、雑貨、医療品など沢山の救援物資をいただきました。

また、電波通信学科12期の木村博明様から20袋入りの餅20箱をお送りいただきました。誠にありがとうございました。

が、かかっていましたが、カウルの取り付けの不具合でベックイン、その遅れを挽回するべく、走行速度を上げたために、1時間10分で行行を終了してしまいました。また、SUGO「10」は、回生システムで用いている大きなコイルが駆動時に接触してパンクし、その修復後も原因不明でシステム停止が生じて不本意な結果に終わりました。

今回も後援会をはじめ多くの方々から多大なご支援を戴きました。前回に引き続き、仙台電波高専同窓会本部ならびに支部からも強力なご支援をいただき、チーム同、心から感謝申し上げます。今後とも多くの皆様のご支援をお願い申し上げます。

# 東北支部だより

東北支部長 庄子 直人  
(電波通信学科7期)

3月11日に起きた未曾有の巨大地震および津波によって、東日本広域において多くの方が犠牲となり東北地方に甚大な被害をもたらしました。この災害により被害を受けた方々に、心からお見舞い申し上げます。

学校のある愛子地区は幸いにも大きな被害を受けませんでした。名取キャンパスのある名取市の沿岸部や、多数の同窓生のご出身地の三陸沿岸部は津波により壊滅的な被害を受けました。今後、秋朋会の皆様と協力して地域復興のお手伝いになるような新たな同窓会活動が出来ればと考えております。

仙台では新緑や花々が芽吹いて鮮やかな季節となり、新たな生命が次々と誕生しています。早期に復興できるように、みんなで力を合わせて頑張りましょう！

## 今年の春も



仙台電波創立60周年を記念して同窓会により、植えられた記念樹は年毎に大きくなり、春には綺麗な花を咲かせます。大震災の今年も何事もなく、例年以上の開花となりました。植樹は玄関前一本、第二学園広場8本、運動場に2本ですがそれぞれの場所です。役割を持っています。

毎年、桜見物をして記念写真を撮り続けているクラスもあります。第二学園広場では、天気の良い日には学生達の談笑の場となります。先日は本校の女子教職員20数名の女子会?の皆様が、桜の下で、昼食会を楽しんでいました。植樹した同窓会としては、このような形で利用して頂けることは大変嬉しいことです。

近頃、日々の勉学・業務・生活

## 平成22年度卒業・修了生の進路について

平成22年度は、150名の学科卒業生、及び37名の専攻科修了生が巣立っていきました。学科卒業生の約4割、専攻科修了生の約3割が進学しました。

### 情報通信工学科

40名

- ・就職
- (株)KDDIテクニカルエンジニアリングサービス
- (株)NHKアイテック
- (株)P.F.U.
- (株)エヌ・ティ・ティエムイー
- (株)ティー・エス・シー
- NECネットエスアイ(株)
- NTTコムウェア東日本(株)
- 工藤電機(株)
- ドコモエンジニアリング東北(株)
- 大阪ガス(株)
- 開発電子技術(株)
- 株データウェイ・システムズ

に追われて余裕の無い人が多いように見受けられます。こんなときこそ広い校庭の素晴らしい自然を愛でることにより、新たな活力と英気を得られればと思います。



仙台高専専攻科 11名  
長岡技術科学大学  
電気通信大学  
東北大学 3名

### 電子制御工学科

35名

- ・就職
- (株)クエスト
- (株)ケーシン
- (株)ソーリンク
- (株)リコー
- (株)椿本チエイン
- COM電子開発(株)
- アルプス電気(株)
- コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)
- サンリットオートメーション(株)
- チエス(株)
- フジテック(株)
- リコーテクノシステムズ(株)
- 会津オレンパス(株)
- 古河電池(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- 通研電気工業(株)
- 東北電力(株)
- 日進工具(株)
- 日本オース・エレベータ(株)
- 日本信号(株)
- 日本電子(株)
- 日本電設工業(株)
- 八木アンテナ(株)

・進学  
仙台大専攻科 7名  
長岡技術科学大学  
鶴岡高専専攻科

### 情報工学科

33名

- ・就職
- (株)富士通アドバンスソリューションズ
- アドバンソフト開発(株)
- キヤノンシステムアンドサポート(株)
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株)
- サンライズ・エンジニアリング(株)
- デジタルテクノロジ(株)
- 日本電算機販売(株)
- フィット産業(株)
- (株)K.S.F.
- (株)アルファシステムズ

(株)アルメックス  
(株)ビッツ  
(株)富士通システムソリューションズ  
総合警備保障(株)  
東日本旅客鉄道(株)  
富士電機(株)

### 電子システム工学専攻

18名

- ・就職
- 開発電子技術(株)
- セイコーインスツル(株)
- 東京エレクトロニクス(株)
- パナソニック(株)AVCネットワークス社
- 東日本旅客鉄道(株) 東北工務部 3名
- 古河電池(株)
- (株)T.T.K.
- (株)ウィッツ
- (株)ケーシンエレクトロニクステクノロジ
- (株)日立製作所

・進学  
仙台大専攻科 7名  
長岡技術科学大学  
東北大学大学院

### 情報システム工学専攻

19名

- ・就職
- (株)エヌ・ティ・ティエムイー
- (株)岩手朝日テレビ
- ネットワンシステムズ(株)
- 三菱重工(株)横浜製作所
- 東芝ITサービス(株)
- 東北インテリジェント通信(株)
- 富士通(株)

## 会員計報

|         |        |
|---------|--------|
| 旧職員     | 佐藤 勉氏  |
| 特科3期    | 吉田 幸夫氏 |
| 特科4期    | 福田 雅夫氏 |
| 特科8期    | 岡元 正光氏 |
| 本科13期   | 青田 克己氏 |
| 専攻科9期   | 小野寺弘道氏 |
| 第1別科4期  | 菅野 敏之氏 |
| 第1別科5期  | 府金 彰氏  |
| 第2別科10期 | 南 昭彦氏  |

謹んでご冥福をお祈り致します。

## 編集後記

東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けた方々へお見舞い申し上げます。

この度の災害に際しては、私自身も仕事で被災地に向かうことがありますが、これまでよく知っていた土地が、見たことのない風景に変わっており、愕然としてしまいます。が、「明けない夜はない。」必ず復興できると信じております。

被災を免れた同窓会会員の皆さまにおかれましては、遠くから懐かしい土地の復興を見守りくださいますようお願いいたします。

なお、今号の発行にあたりましては、私を含め編集委員の多くが地元東北でのライフラインに携わっており、委員会の開催ができず、資料先生、菅原先生ならびに同窓会会員の皆さまに多大なご苦勞をお願いして発行に結びつけることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

(川下)

## 募集告知

編集委員、近況短信、寄稿、募集します！  
待ってます  
仙台電波高専同窓会事務局

